

大阪案内ショートムービー公開中!!

大阪を愛し、大阪に魅せられた映画監督やタレントが、お気に入りのエリアや思い出の場所をナビゲートする大阪案内ショートムービー。案内人は、岸和田を舞台に映画を制作した塩屋俊さん、織田作之助をテーマに大阪発の映画を構想する金秀吉さん、そして大阪出身タレントのラサール石井さん。

ムービーを見た後は、ぜひご自身で大阪のまちを歩き、体験してみてください。

■ 塩屋俊

「人と映画と大阪と」

動画

だんじり祭で有名な大阪・岸和田で、映画『ビートキッズ』を制作した塩屋俊さん。岸和田、大阪府庁、中之島、御堂筋など、ロケを行った数々のスポットを歩きつつ、“映画のまち・大阪”にエールを贈ります。



■ 金秀吉

「オダサクが愛した法善寺横丁」

動画

映画監督の金秀吉さんが、大阪に生き、大阪を愛した作家・織田作之助の足跡をたどりながら、観光客にはもっとも大阪らしさを感じさせる法善寺横丁や心齋橋などを紹介します。



■ ラサール石井

「『どついたれ』に魅せられて」

動画

大阪出身のタレント・ラサール石井さんが、故郷の帝塚山を散策。大阪市内で唯一の路面電車が走り、いまだ昭和30年代頃の面影を残すまちを案内します。後半は、少年時代に愛読した手塚治虫の未完作『どついたれ』映画化の夢を語ります。



「多士彩才」もさらにパワーアップ!

大阪をエキサイティングにする仕掛け人たちが続々登場します。乞うご期待。



才能ある若いアーティストをdig out(発掘) 谷口純弘さん



大阪を拠点に旺盛な演劇活動 わかぎゑふさん

再発掘!大阪の“鍋文化”

さまざまな食材を入れ、だしを取り、さらに手を加えて作り上げる鍋料理には、カオスとしての大阪文化のエッセンスが詰め込まれています。大阪ブランド情報局では“鍋文化”をキーワードに、さまざまな情報発信を展開していきます。



クローズアップ

ブランドを支える人 — 藤井敬久さん(サントリーブレンダー室・首席ブレンダー)

10年、20年先にも深く愛してもらえるウイスキーを

「一人ひとりに深く愛してもらえる味を追求したい」。藤井敬久さんは、京都南西部・天王山の麓にあるサントリー山崎蒸留所で、約1万樽(近江地区)の貯蔵樽を管理するブレンダー7人衆のひとり。社歴23年、ブレンダー歴8年の経験則で、樽の特徴、原酒の色、香り、味わい、余韻などを日々テイस्टングします。「樽ごとに原酒のキャラクターが違います。微妙な配合で安定した味を提供しています」。10年、20年先をみた、原酒開発にも余念がありません。「やってみなはれ」の社風が、個人の資質を後押ししています。

